

# LOBO 調査

## 早期景気観測

9月分 日商調査日 9月6日～16日  
当所調査日 9月6日～21日

### LOBO調査とは

全国各地の商工会議所が参加して、日本商工会議所が実施する全国規模の早期景気観測調査。当所ではさらに、会員企業40社の皆さまにも調査へのご協力をいただき、より地域に根差した調査を実施。

日商調査  
9月の全産業DI ▲33・2  
(前月比 ▲3・8ポイント)

### ○中小企業の景況感

緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の期間延長に伴う、営業制限、イベント中止などの影響が続く中、客足が遠のく飲食・宿泊などのサービス業や小売業が悪化した。また、製造業では、半導体不足や東南アジアでの感染拡大を背景とする部材調達難など生産活動への影響を指摘する声が聞かれた。

公共工事に下支えされた建設業は底堅いものの、鉄鋼や木材などの原材料価格の上昇、天候不順による野菜価格の上昇が業況の押し下げ要因となるなど、中小企業の景況感は一段と厳しい状況にある。

### ○先行き

先行き見通しDIは、▲31・0（9月比+2・2ポイント）。  
ワクチン接種の進展に伴い、政府から日常生活回復の方針が示され、経済

活動正常化への期待感が広がっている。一方、当面の間は感染対策が求められ、受注・売上減少や客足回復の遅れが継続することから、経営への影響を不安視する声は多い。さらに、半導体不足や部材調達難を受けての生産調整、原材料価格上昇分の価格転嫁の遅れ、最低賃金引き上げに対応しての人件費の上昇などもあり、中小企業の先行きへの見通しは、厳しい見方が続く。

【関東ブロックの業況コメント】  
設備投資関連の受注減が続く中、最低賃金の引き上げや労働時間上限規制への対応を迫られ、雇用環境は厳しい状況（職別工事業）。

前年同月と比べて売上は改善しているものの、原材料の高騰が著しく、販売単価への転嫁が追い付かない（水産食料品製造業）。

### 【全国調査】

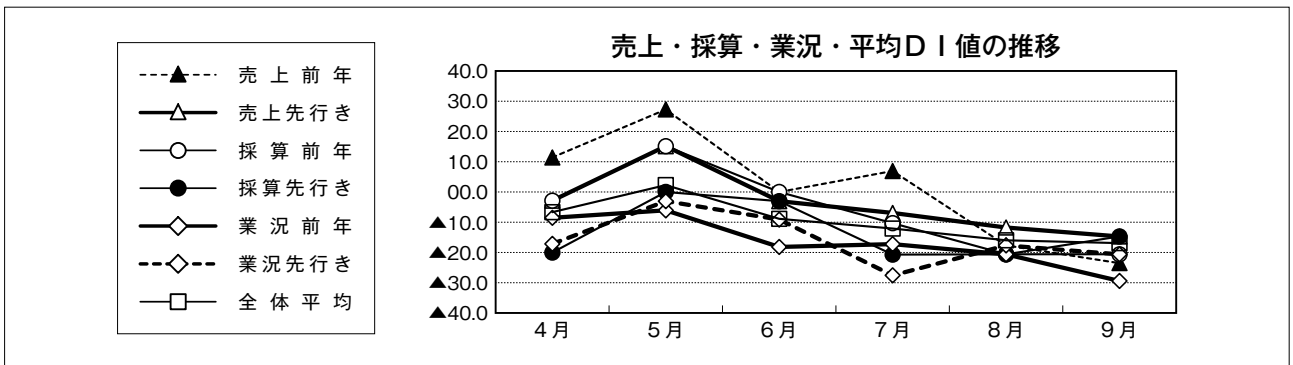
「全体DIは4か月連続で悪化。長引く緊急事態宣言の影響か？」

全体平均DIは▲16・9で前月に比べ▲1・0の悪化。項目別では、資金前年比▲17・6ポイント、業況前年比▲8・8ポイント、と資金繰り中心に悪化がみられた。昨年の借入資金返済が始まった影響だと考えられる。

寄せられたコメントには、「緊急事態宣言の発令により、ほとんどの仕事がキャンセルになった」（観光バス・旅行業）、「緊急事態宣言の延長により営業環境の厳しさが続く」（広告代理店）、のような緊急事態宣言による影響についての声が多く寄せられた。

(全産業) 水戸商工会議所会員企業LOBO調査(DI値推移) (サンプル数40社)

項目	令和2年		令和3年				
	9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上前年	▲64.3	11.4	27.3	0.0	6.9	▲17.6	▲23.5
売上先行き	▲57.1	▲2.9	15.2	▲3.0	▲6.9	▲11.8	▲14.7
採算前年	▲64.3	▲2.9	15.2	0.0	▲10.3	▲20.6	▲20.6
採算先行き	▲60.7	▲20.0	0.0	▲3.0	▲20.7	▲20.6	▲14.7
仕入前年	▲25.0	▲28.6	▲36.4	▲45.5	▲48.3	▲50.0	▲47.1
仕入先行き	▲25.0	▲28.6	▲24.2	▲42.4	▲34.5	▲41.2	▲38.2
社員前年	10.7	20.0	21.2	15.2	20.7	11.8	11.8
社員先行き	10.7	14.3	9.1	12.1	13.8	5.9	14.7
業況前年	▲53.6	▲8.6	▲6.1	▲18.2	▲17.2	▲20.6	▲29.4
業況先行き	▲42.9	▲17.1	▲3.0	▲9.1	▲27.6	▲17.6	▲20.6
資金前年	▲32.1	▲5.7	3.0	0.0	▲6.9	0.0	▲17.6
資金先行き	▲32.1	▲11.4	6.1	▲12.1	▲13.8	▲8.8	▲2.9
全体平均	▲36.3	▲6.7	2.3	▲8.8	▲12.1	▲15.9	▲16.9



※DI値(景況判断指数) = (増加・好転等の回答数 - 減少・悪化等の回答数) / 全回答数 × 100。ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナス値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味するもの。